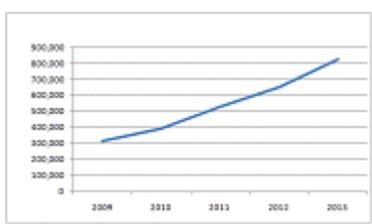


□中国の権利別出願の推移

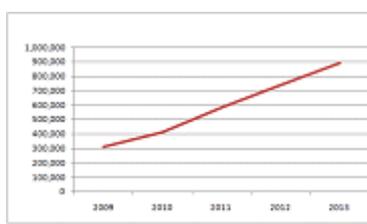
区分	2009	2010	2011	2012	2013
特許	314,046	391,117	526,412	652,777	825,136
実用新案	309,933	409,836	585,467	740,290	892,362
意匠	348,832	421,273	521,468	657,582	659,563

<特許>



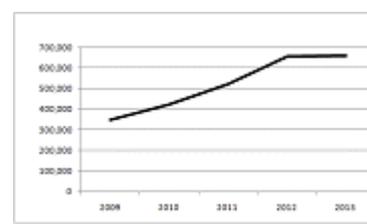
最近5年間の平均伸び率：27.4%

<実用>



最近5年間の平均伸び率：30.5%

<意匠>



最近5年間の平均伸び率：17.7%

<分析>

- ▶特許の場合、2011年に米国を追い越してから第1位を堅持している。
- ▶意匠の場合、平均17%前後の成長を見せたが、2013年には横ばい状態

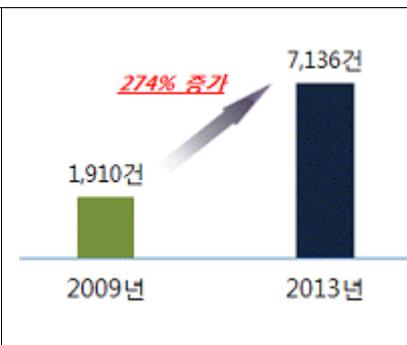
□外国人の権利別出願の推移

<特許>



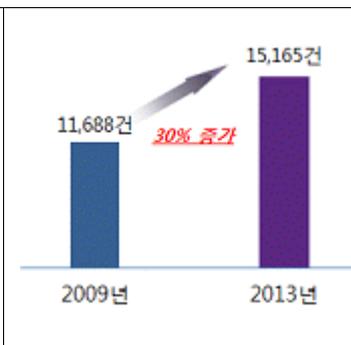
最近5年間の平均伸び率：9.0%

<実用>



最近5年間の平均伸び率：39.7%

<意匠>



最近5年間の平均伸び率：6.9%

<分析>

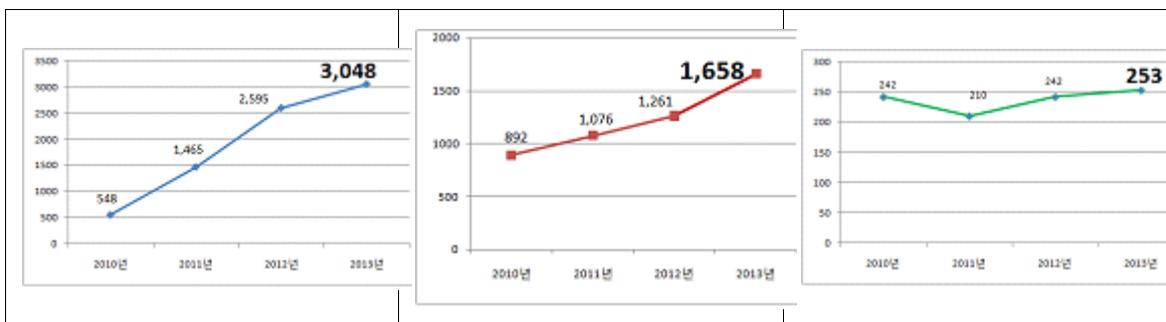
- ▶特許と意匠は、中国における出願全体の伸び率には及ばないが、実用新案は上回っている。

□主要国の実用新案出願の推移

<日本>

<米国>

<韓国>



4年間の平均伸び率： 87.3% *特許の平均伸び率： <u>7.0%</u> *2013年の特許出願：41,193	4年間の平均伸び率：23.1% *特許の平均伸び率： <u>5.8%</u> *2013年の特許出願：29,992	4年間の平均伸び率： 2% *特許の平均伸び率： <u>15%</u> *2013年の特許出願：10,866
-------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

<分析>

- ▶ 日本、米国の場合、特許出願より実用新案の伸び率ははるかに高い。
*特に2010年以来、中国の実用新案出願を急激に増やしている。(87.3%)
- ▶ 一方、韓国は実用新案より特許出願の伸び率が圧倒的に高い。
- ▶ 特許出願に比べて実用新案出願の割合が日本、米国により低い。
*日本 7.3%、米国 5.5%、韓国 2.3%

※中国特許と実用新案の比較

区分	特許	実用新案
審査	実質審査	形式審査 *最近(2013.10)、審査指針の改正により実質審査の要素が強化
存続期間	出願日から20年	出願日から10年
手数料	<ul style="list-style-type: none"> 出願料 950 元 審査請求料 2,500 元 	<ul style="list-style-type: none"> 出願料 500 元 *実用新案は、審査請求料なし

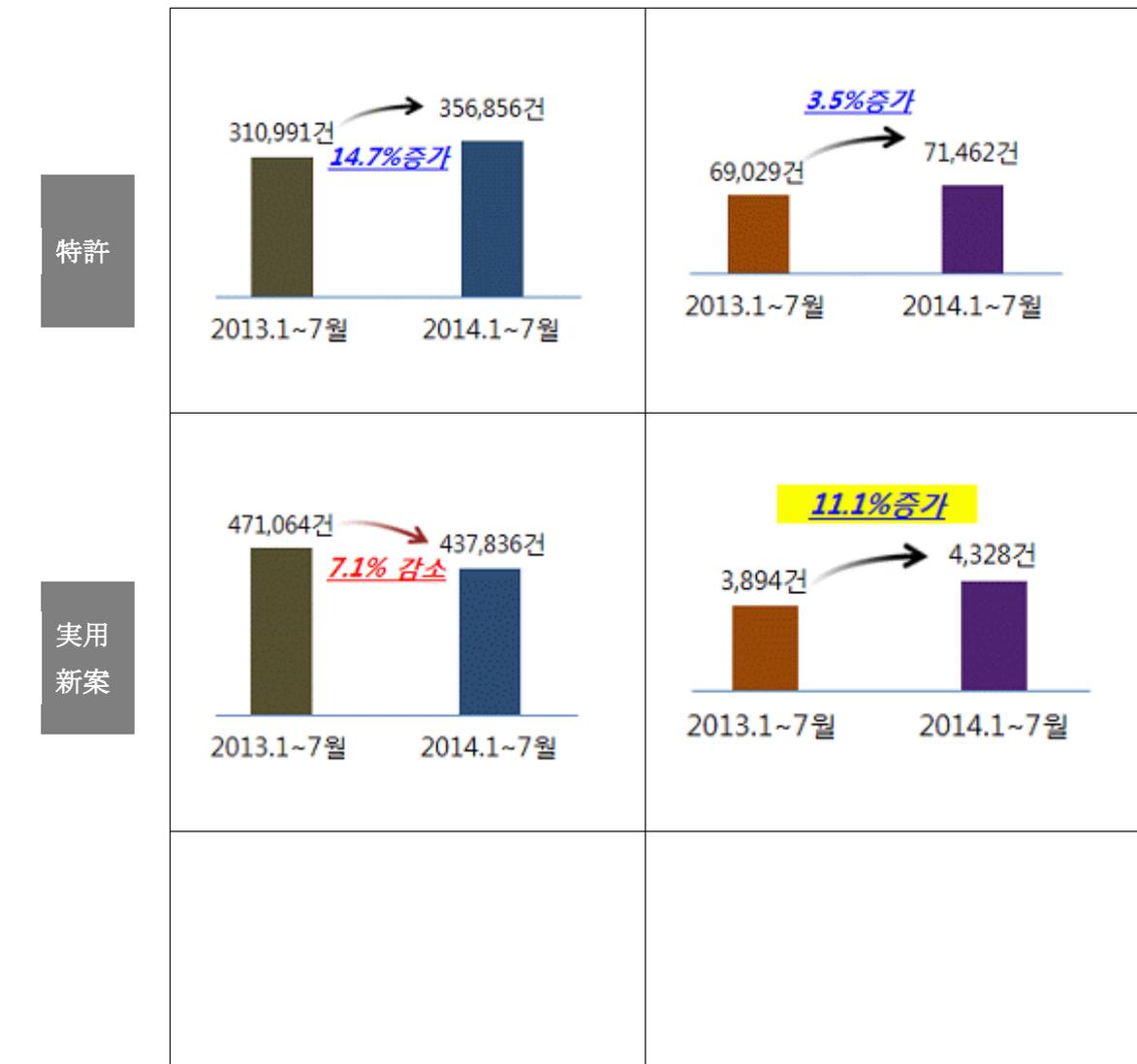
□2014年1月～7月の出願件数および前年比伸び率

区分	(2013.1～7月)	2014.1～7月	伸び率 (前年同期比)
特許	(380,020件)	428,318件	12.7%増
実用新案	(474,958件)	442,164件	6.9%減
意匠	(369,028件)	269,130件	27.1%減

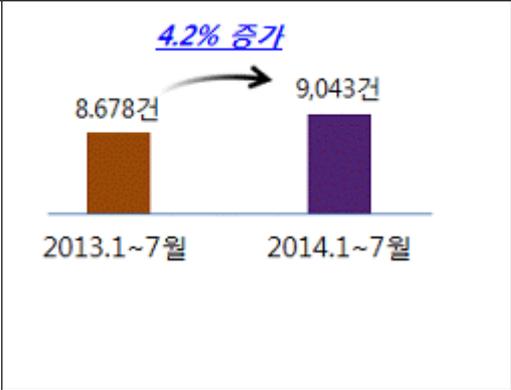
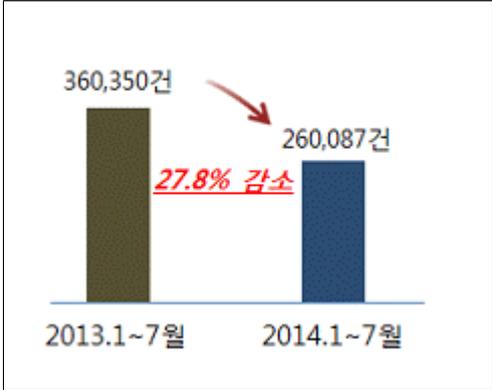
□2014年1～7月の権利別内国人・外国人の出願伸び率(前年同期比)

<内国人の出願>

<外国人の出願>



意匠



<分析>
▶内国人の实用および意匠は、出願が急減した一方、外国人の出願は増加
- 特に外国人の实用新案出願は、前年同期比高い増加傾向を見せている。